

# ピアホームだより

2018. 5. 10

## 第45回 家族と専門家の交流会

4月22日(日)、第45回 家族と専門家の交流会が開催されました。「交流会」も20年以上にわたって開催されて来て、白石先生の確かな知見と人柄から、ますます盛況を呈しています。

しかし、関わってこられた事務局ボランティアの方々も高齢となり今回限りとなってしまう、会の事務的な引き受け手が無くなってしまいました。ということで、急遽、私が事務局的な役割をお引き受けする役割となりました。

今回は、新しいご家族の参加も多く、質問も従来の2倍近くあり、その受付先が私と先生にまたがってしまって、若干混乱してしまいました。何しろ、関わる支援の専門家の皆様にも作成した質問状を送付し、お応えを頂きながらそれを取り込んで編集して行く。しかも、ご家族の質問を一人残さずお応えしていく—最後は勉強会前日にも長文の質問が来ていました。

ご家族がどんなに悩んでいらっしゃるか？そして、白石先生がこんな大変な作業を20年も続けていらっしゃることに改めて驚くとともに感謝しました。

いつも先生におんぶに抱っこ、今回は、そんな一助になれたことでむしろ嬉しい気持ちです。先生の講義を抜粋して載せます。

### 再発・再燃時の臨床疑問

1 切替と増量のどちらが適切か？

増量の余地があればまず増量

2 抗精神病薬の併用療法は単剤と比較してより有効か？

併用しても、効果は不確実で副作用の可能性がたかまるので、単剤が好ましい。

### 維持期治療の臨床疑問

1 抗精神病薬の継続と中止のどちらが推奨されるか？→継続が推奨される

2 再発率減少や治療継続に好ましい薬剤は？→第2世代。それらで有効性の違いは不明

3 持効性抗精神病薬は、経口薬に比して有効か？→服薬がきちんと行われない場合に注射が有効。服薬する人では差がない

4 抗精神病薬の減量は有効か？→現時点で

は不明

### その他の臨床的諸問題への臨床疑問

1 統合失調症の抑うつ状態に対してどのような薬物が有効か？→積極的推奨薬なし

2 統合失調症の認知機能障害に対して推奨される薬物治療法は？→生じさせないためには単剤、抗コリン作用薬を使用しないなど

3 病的多飲水・水中毒に対して推奨される薬物治療法は？→不十分なデータながら、クロザピンの有効性が知られる

4 抗精神病薬に対する体重増加に対して推奨される治療法はあるか？→消極的(ジブレキサなどの中止)

### 再発に影響を与える要因

感情表出の究(レフラ)

・低EEは服薬がされてなくても再発率が低い  
・非常に高いEEだとほぼ100%再発を起こし、お薬を服用していても50%ぐらいの再発になった。ここから学ぶべきことは、統合失調症患者にとっては、いかに環境が大切かと言うことである。

### 今月の予定

<5月19日>アドボケイト会理事会・総会